

この人に聞く Spotlight

No.203

奉仕の心がつなぐ12年間のうどん支援リレー

高橋 静雄^{しずお}さん



「コーヒーマー一杯の縁が12年間もつなぐるとは夢にも思わなかった」。そう語るの立花にある農家レストランさん(食亭代表の高橋静雄さん(79歳・若宮町)です。東日本大震災の被災地支援として、毎年日の出製麺所(香川県坂出市)から送られたうどんを12年間沿岸の人々に届け続けています。その数3万5千食以上です。

リレーが始まったのは東日本大震災が起きた平成23年から。高橋さんは被害の状況を知ると居ても立ってもいられなくなり、震災から5日後に多くの食料や購入したまきストープなどをトラックで被災地に運搬しました。また、インターネットを通じて全国から募った大量の支援物資を週3日運び続けました。

同年4月、営業前の店舗の駐車場で背伸びをしている姿を見かけた高橋さん。声を掛けると沿岸で温かいうどんを炊き出しし、香川県に帰る途中だった同製麺所の三好社長でした。ねぎらいを込めて店内で一杯のコーヒーマーを振る舞い、互いの支援活動について語り合いました。すると同年12月、宅急便で約8千食分のうどんが高橋さんの元へ。一杯の振る舞いがきっかけで、三好社長から託された沿岸へのうどん支援リレーが始まりました。その後もうどんや全国から届いた物資などを届けたり、仲間と温かい麵を提供する支援活動なども実施。今までに100回以上は沿岸に足を運んだといいます。

活動を続けてきた理由を尋ねると「復興を忘れない思い」と、ライオンズクラブで培った奉仕の心から」と答える高橋さん。モットーは有言実行で、「今後は高齢者が集える場所を作りたい」と新たな目標を掲げます。高橋さんの奉仕の気持ちは、今後もさまざまな人の心を温め続けます。

どんなクラス？

明るく元気で、授業は真剣に取り組む(璃音、歩駆登)
いざという時に本気を出せる(心結)
みんなで鬼ごっこをして遊ぶ(重智)
高学年として委員会活動を頑張る(直斗)
先生は足が速く、明るくて優しい(拓希、乙華)

担任 藤村先生からのメッセージ

4月から高学年の仲間入りをした皆さん。不安なことがあるかもしれませんが、一緒に挑戦していきましょう。先生は、皆さんのことを常に応援しています！

4月のクラス

飯豊小学校 5年2組



4月のアーティスト

中野 友葵 ちゃん
いわさき認定こども園 5歳



お母さんとお姉ちゃんと一緒に公園にお散歩に行ったの。走って遊んだのが楽しかったな！みんな笑顔でいい思い出になったよ！



No.265

みんなの詩歌



ひさかたの雨の降る日に本広げ一人の部屋に紙の香満ちる

阿部 椋太

お天道さん昇り沈んで東西遠い誰かに朝を届ける

高橋 大和

最高のスタートダッシュ決めてやれゴールに向かって未来に向かって

林 心咲

夏休み涼しい夜に友達と線香花火少し切ない

藤川 陽南

上野中学校三年

※掲載作品は日本現代詩歌文学館内に展示しています。

おらほの愛どる



菊池 眞白 くん
令和3年12月31日生まれ
(中野町)

菊池家、伊藤家みんなのアイドル！たくさん眠って、たくさん食べて元気に育ってね。



小田島 蒼 くん
令和3年12月9日生まれ
(相去町)

いつも最高の笑顔をありがとう！これからも一緒に一歩ずつ前に進もうね。



藤原 仁 くん
令和4年6月11日生まれ
(町分)

家族の宝物だよ！体も心もスクスク大きくなってね！大好きだよ！



掲載申込みはこちら